

小・中連携研修会【東桜島小学校・東桜島中学校】

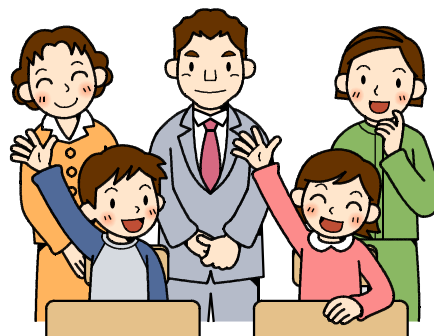


A【学力】分科会

○小学校の部

～全国学力テストの分析から～

- ・ 思考力・判断力・表現力が弱い傾向がある。
- ・ 無答の子どもは少なくなっている。
- ・ 読書とタブレットに力を入れている。
- ・ 学力の定着や向上を図るためのチャレンジタイム（8時30分～8時45分）を設定している。



○中学校の部

～各教科の授業の様子及びNRT分析の結果から～【主に中1の様子から】

- ・ 課題として学力差が大きい実態がある。
→タブレットの活用（ロイロノート・チームス・マビナ）
→個別最適な学びを図る。

指導助言

- ・ コミュニケーションスキルの発達について→言語技術能力の向上
- ・ 三角ロジックの活用→根拠や理由付けに基づいた論理的な思考の育成
- ・ 小・中見通した体系的なカリキュラムの構築

本年度【令和4年度】の共通実践事項

タブレットの活用を促進し、個に応じた学びの場を設けよう



B【生徒指導】分科会

～『整える』心・環境整備～

○小学校 いじめ3件・不登校0件

「四合(しあわせ)運動」の実施

「あ・え・た」(相手を見て笑顔で立ち止まって)

靴のかかとを揃える運動・かばん棚の整理整頓の促進



○中学校 棚・机中の整理整頓・トイレのスリッパの整列→浸透している。

「心の教育」と関わりがある。→心と体を整える。

1家庭庭1チャレンジの実施→同じ時間を共有する良さがあり,今年度も継続して行う。

本年度【令和4年度】の共通実践事項

『整える』 ~心・環境整備~



C【特別支援教育】分科会

○小学校の部

自立活動・・・週1回実施している。

下級生に対して・・・手本になる言動を行う。

やさしく接する態度を培う。

コグトレ・・・相手の気持ちを読み取るトレーニングを実施。

45分間座れない児童への対応→まずは、20分間を目標にして、トレーニングを行う。

掛け算九九や本読みが苦手である。



○環境づくり・・・知的,情緒の相性があわないとき

コミュニケーションスキル コグトレ 教材の選択

その場その場,繰り返し,感情と行動のコントロールを行う。

転入生・・・大きな声で呼び捨て 初対面

名前は大切だから『さん』づけで指導を行う。

○ヘルプを求める力ははぐくむ。

一人一人に得意なところをもたせ,自己肯定感の向上を図る。

本年度【令和4年度】の共通実践事項

コミュニケーションスキルを日常生活で使えるようにしよう